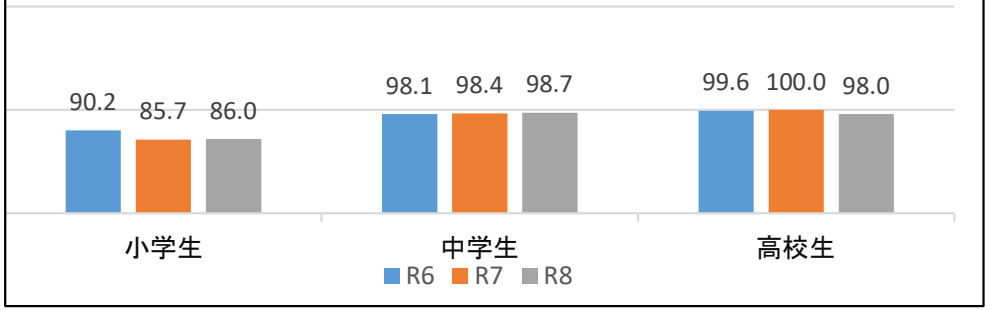
令和8年度青少年のネット利用実態調査結果（概要）

1　調査の概要

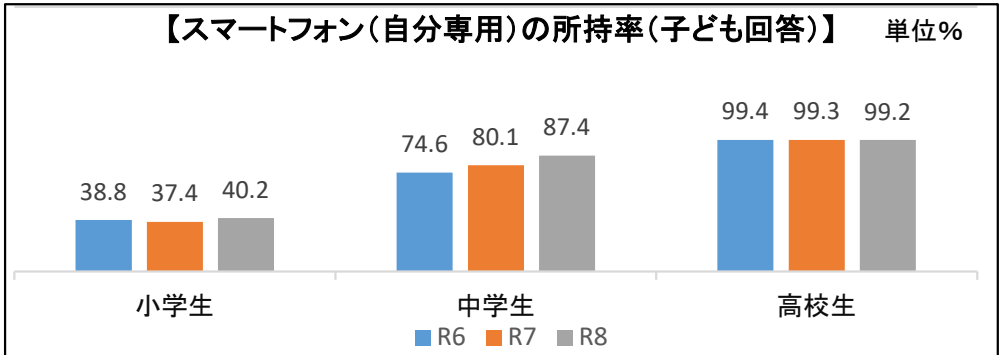
調査対象：県内の小学校（2年生、5年生）、中学校（2年生）、高等学校（1年生）の児童生徒約2，100人と保護者約4，500人の計約5，600人
調査方法：対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票を作成し、Webによる調査を行った。
調査時期：令和8年7月
調査内容：①インターネットの利用率・利用機器・利用内容　②インターネット利用による生活の変化　③インターネット利用時のトラブル等と相談
④フィルタリングの利用状況と家庭のルール　⑤インターネット利用に関する学習の機会と方法

2　インターネットの利用状況

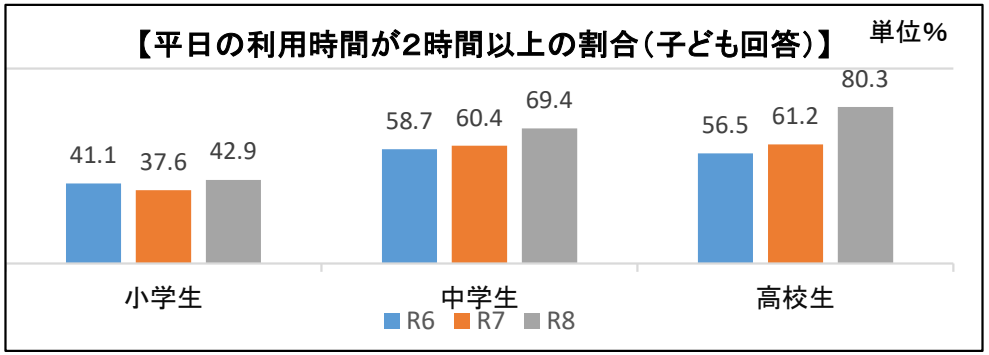
【青少年のインターネット利用率（子ども回答）】　単位%



【スマートフォン（自分専用）の所持率（子ども回答）】　単位%



【平日の利用時間が2時間以上の割合（子ども回答）】　単位%



・小学生の86%、中学生・高校生のほぼ全員がインターネットを利用しており、全年齢でインターネットが利用されている
・中学生では87%以上、高校生では、ほぼ全員が自分専用のスマートフォンを所持している
・平日2時間以上利用する子どもは、どの年代でも上昇している。

3　トラブル状況　（調査人数：小 450人、中 585人、高 595人）

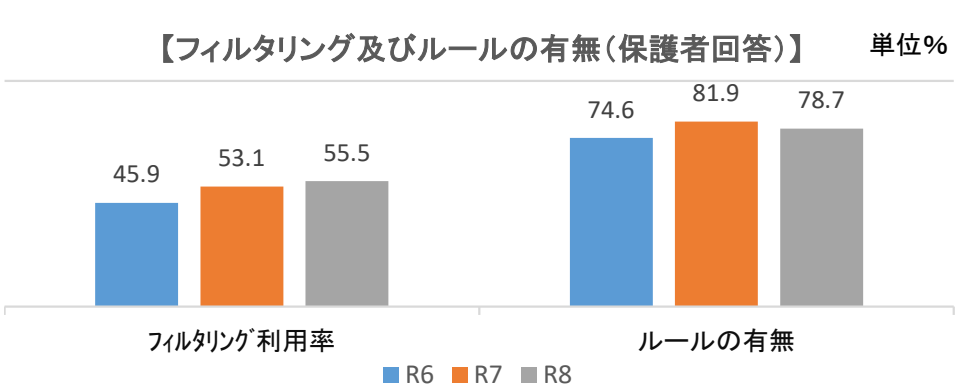
【裸や下着の写真の要求（子ども回答）】

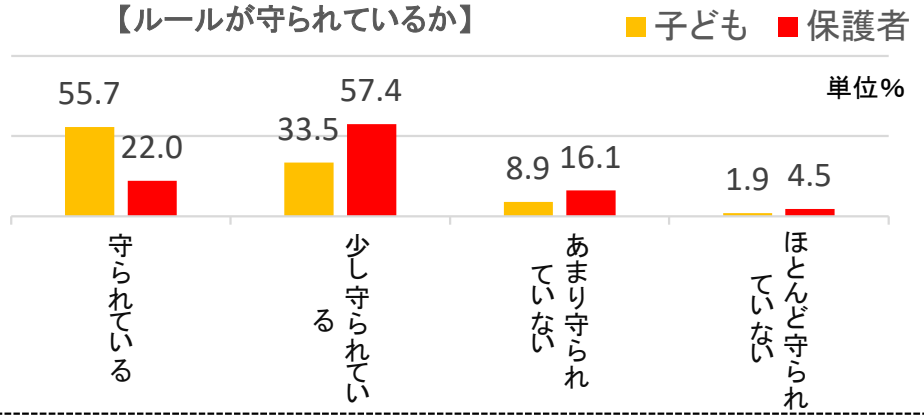
	中学生	高校生	計
送ったことがある	1人	3人	4人
要求された（送っていない）	10人	18人	28人

【トラブルの経験（子ども回答）】

	小学生	中学生	高校生	計
悪口等を送信された、仲間外れにされた	22人	57人	58人	137人
ゲームやアプリでの課金	17人	35人	58人	110人
SNSに個人情報を投稿された	7人	9人	9人	25人

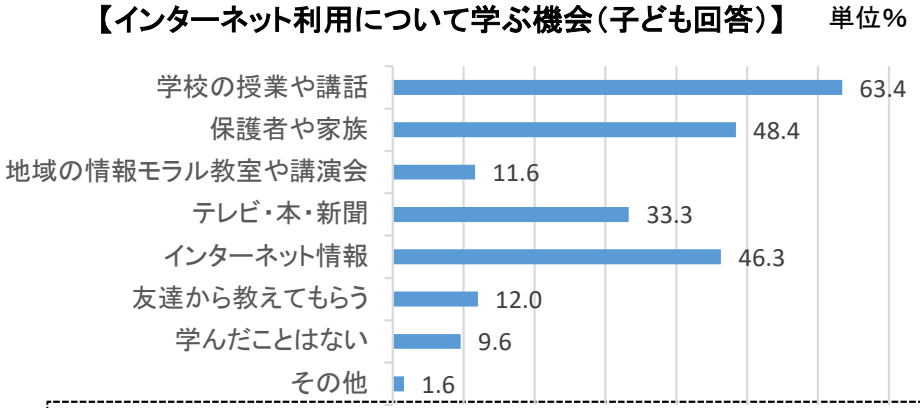
4　フィルタリングの利用状況及び家庭のルールの有無

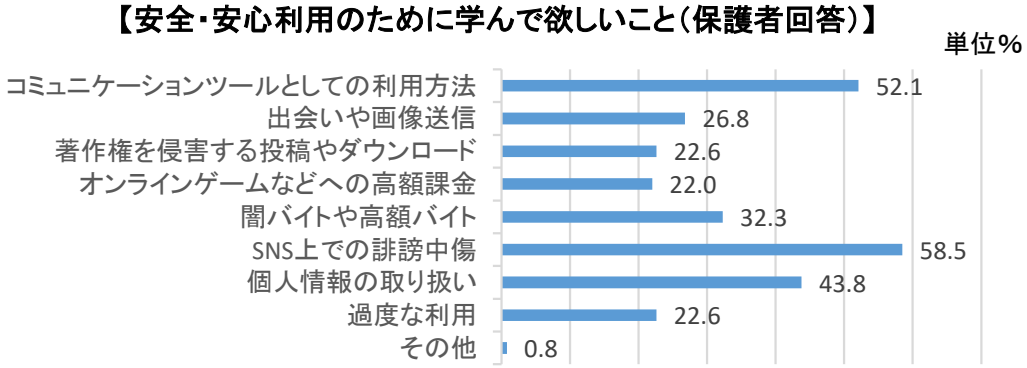




・フィルタリングの利用率は前年より増加した。家庭のルールは昨年より減少した。
・ルールの内容は「利用時間」と「利用内容」に関するルールが多い。

5　学習の機会と内容





・インターネットの安全・安心な利用について学習する機会は「学校の授業や講話」が一番多い
・テレビや本よりも、インターネット情報により安全・安心利用を学ぶ割合が高い
・保護者が望む学習の内容について、コミュニケーションに関連する選択肢の回答率が高い

6　お願い

・保護者の方は、子どもたちが有害情報に触れる機会をなくすため、フィルタリングの利用や、子どもたちの成長や利用状況に応じたペアレンタルコントロールをしましょう
・保護者と子どもたちが話し合い、「家庭のルール」をつくりましょう



大分県のHPに安全安心にスマホやネットを使うための情報を掲載しています